

「孫育てと子育て支援」

春日保育園 子育て支援センター 伊達ルミ先生

～子どもがしていることを待って、見守れる存在になろう～

子育てをしていると毎日があわただしく、「早く」「早く」と子どもを急がせることが多くはないでしょうか？子どもの生活速度が時速4キロだとすれば、大人の生活速度は時速50キロ。その差をうめるのが、おじいちゃんやおばあちゃん、まかせて会員さんです。心にゆとりのある生活を与えてあげられるよう、ゆとりのある声掛けをし、困っていたら励まし見守る。できたらほめる。子どもの気持ちを言葉にする。というかわり方をしてあげてください。子どもと一緒に楽しむことが大切で、「ありがとう」の一言で子どもの心はすくすくと育ちます。



～交流会 ヒヤリハット事例 (子どもが急に走り出した…ほか)～

日頃の活動の中で実際に起こった事例への対応について、伊達先生にアドバイスを頂きながら、参加者全員で意見を出し合い共通理解を深めました。「子ども(4才・2才)と一緒に散歩をしていた所、子どもが急に走り出し、慌てて追いかけたが追いつけなかった。車も通る道でヒヤリとした。」という事例に対し、子どもへの事前の声掛けや約束(手をつないで歩こうね・手を離したらおうちに帰るよなど)が大切だという事を再確認しました。

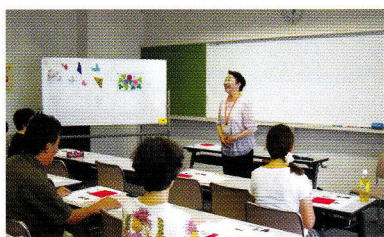


「子どもと仲良くなるコツと楽しく遊ぶためのヒント」

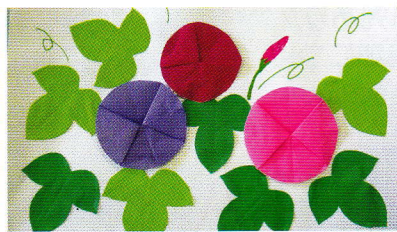
元飯山北幼稚園園長 長尾彩子先生

～子どもと仲良くなるには、笑顔と、同調することが大切です～

まずは笑顔で、その子と仲良くなりたいという気持ちを持って接してあげること。その気持ちは、まだ言葉を話せない子どもにも伝わります。子どもと同じ動作をしたり、子どもの言葉を繰り返したり、子どもと同じ目線でかかわってあげること(同調)が大切だそうです。



～子どもと一緒に楽しむ遊び(折り紙・手遊び・わらべうた・新聞あそび・読み聞かせ)～



参加者全員での「なべなべそこぬけ」は、ほっぺたが痛くなるくらい笑い、大変盛り上がりました！昔ながらの、手遊び・わらべ唄は心が安らぎますね。あつという間の楽しい2時間でした。

折り紙で「あさがお」を作りました。皆さんそれぞれに、素敵な作品が完成しました。他に「ことり」「金魚」「だまし船」なども作りました。子どもの大好きな「折り紙指人形」もおすすめです。「すぐに活動に生かせそう。」「簡単に折れるのが良かった。」「昔を思い出して楽しく出来た。」など、折り紙は皆さんに大好評でした。作ってみたい方は、アドバイザーまでお声掛けくださいね。

